

# 林業ミニ情報 No.155

令和元年9月

- 1 里山住宅博で森林・林業体験学習を実施 .....1  
(土浦林業指導所 藤田)
- 2 「木造園舎見学会」が開催されました.....2  
(筑西林業指導所 古谷)

タイトル	里山住宅博で森林・林業体験学習を実施
年月日	令和元年 9 月 8 日 (日)
場所	つくば市春風台
内容	<p>里山住宅博 inTSUKUBA2019 (以下、「住宅博」という) の会場で、森林・林業体験学習の木工工作 (箸づくり) を実施したので紹介します。</p> <p>住宅博は、茨城県産材普及促進協議会の主催で、緑豊かな里山での生活のモデル団地にするとともに、県産木材の利用促進と地元の大工・工務店への支援を目的に今年 6 月から 11 月末まで開催されています。期間中様々なイベントを行っており、その中の一つとして、今回体験学習を実施することとなりました。</p> <p>会場となる「春風台ヒュッゲガーデン」(つくば市春風台) には、75 区画のうち地元工務店を中心に県産木材使用率 50% 以上のモデルハウスが 22 棟建てられていて、会期中は申し込みをすれば見学することができます。モデルハウスはどれも木材の良さが感じられるような作りとなっており、また、里山付き住宅というコンセプトにより、住民が共同で管理・利用する共有スペースには、隣接した山林に自生するアオダモやクヌギなど郷土樹種が植栽されています。</p> <p>このように木造住宅に興味を持って来場された県民の方を対象に、森林の働き、木材利用の大切さについて理解を深めてもらうため、間伐材を利用した箸づくり体験を実施しました。当日は、約 100 人の親子連れなどが参加し、県内で間伐されたヒノキの材を使用してマイ箸を作成しました。参加者からは、「木材を利用することの大切さを知り、より木造住宅への興味がわきました」との声をいただくことができました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>箸づくり体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>共有スペース</p> </div> </div>
普及成果	<p>里山や木造住宅に興味のある県民に対して、森林や木材利用の大切さについてより理解を深めてもらうことができました。当指導所では、今回のように森林・林業の PR に効果的なイベントに積極的に参加し体験学習を実施することで、森林・林業への県民意識の醸成を図ってまいります。</p>

タイトル	「木造幼稚園舎見学会」が開催されました
年月日	令和元年8月29日(木)・31日(土)
場所	古河市三和「くくや台幼稚園」
内容	<p>茨城県産材普及促進協議会が、県内の公共建築物等の木造化・木質化を推進するため、古河市内で昨年度に立て替えられた木造幼稚園舎において、県・市町村及び民間幼稚園や保育園の関係者を対象とした見学会を開催しました。</p> <p>会場の幼稚園は、老朽化による建て替えを機に、県の「いばらき木づかいチャレンジ事業」の補助金を活用したモデル的な木造建築物として、県産木材をふんだんに取り入れて新築した施設です。</p> <p>見学会では、はじめに当協議会に所属している建築士から、「木造建築コーディネーターの活動紹介」のほか、「こどものための木造化・木質化のメリット」や「木造幼稚園・保育施設のつくり方のポイント」などの説明があり、その後園舎を見学しました。</p> <p>この園舎は、木造建築を熟知した建築士が設計し、構造材すべてに県産木材を使用しています。そのうち約8割を住宅用の一般流通材で賄い、コストの低減や資材の調達を容易にすることで、木造建築の課題である経済性の改善に取り組んでいます。また、天井や床、腰壁などに木材を多用し、直接見て触れることにより、園児たちが木の良さを知る教材となるように計画されています。</p> <p>参加者からは、「木のあたたかみを感じる」「室内に入った瞬間から木の良い香りがした」との感想が聞かれ、また、天井の構造材に着目する方も多く見られました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>くくや台幼稚園(外観)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>見学会の様子</p> </div> </div>
普及成果	<p>今回の見学会を通して、参加者には木造施設の良さを体感し、施設整備のポイントなども理解していただけたと感じました。</p> <p>当指導所では、今後もモデル的な木造建築物を活用して、公共施設等の整備関係者にアピールすることにより県産木材の利用拡大を図るとともに、より多くの方に木の良さを体感していただけるよう、団体等のPR活動を支援、協力してまいります。</p>